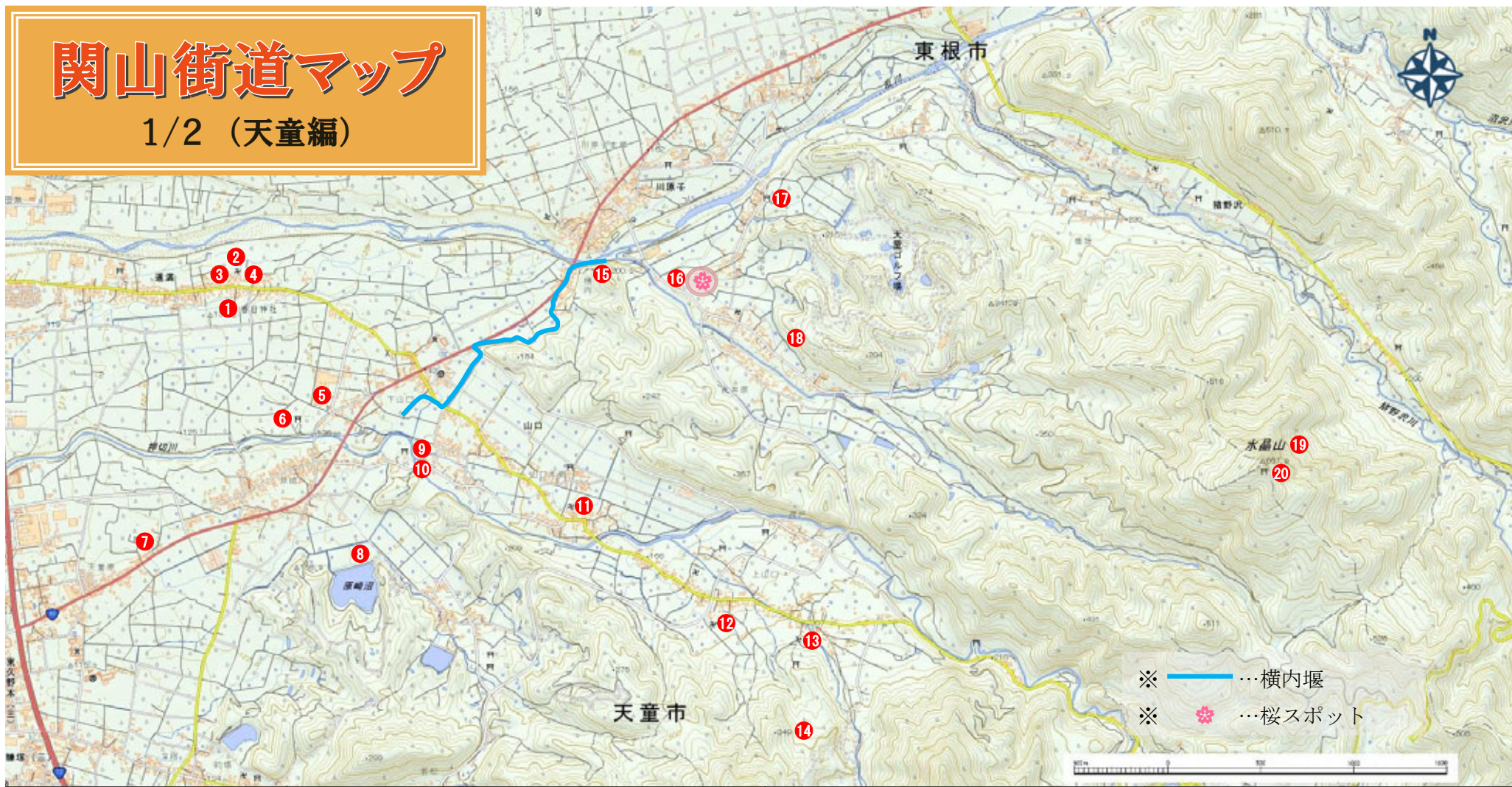


関山街道マップ

1/2 (天童編)



名所・見所



かすがじんじゃ
① 春日神社



しんげんじ でんしょうぐんじょうだいぼさつぞう
② 新源寺と伝勝軍地蔵大菩薩像

天童市道満 62

天童市道満に鎮座し、天兒屋根命他三神を祀っています。由緒調べに永禄2年(1559年)創建と記されています。江戸末期山形城下に流行病が蔓延、城主水野忠弘の代参が境内の笹と杉の葉を持ち帰った所、流行病は「サッサとスギ去った。」以来「風邪除け、災難除け」として崇敬されています。

天童市道満 65

若木山扶桑林新源寺は延宝2年(1674年)開山の曹洞宗寺院で、本尊は釈迦牟尼仏。本堂に最上義光ゆかりの伝勝軍地蔵大菩薩像(延命地蔵)が祀られています。この像は最上義光が天童の舞鶴山に創建した愛宕神社の宿院大輪寺の本尊ですが、明治26年縁あって当寺に寄進されました。



どうまん ひ みやぐら
③ 道満の火の見櫓



ごとうひさおけじゅうたくさんこう
④ 後藤寿夫家住宅と三光ヒバ



やまぐち おおぼとけ
⑤ 山口の大仏



しんざんじんじゃ
⑥ 新山神社



やまぐちむらかいでんきねんひ
⑦ 山口村開田記念碑



ぼらざきぬま
⑧ 原崎沼

天童市道満 65

明治21年に最初の鐘楼型火の見櫓が建てられ、現在の櫓は昭和25年頃に再建された櫓です。4本の柱は長さ12mの杉の大木。梵鐘は高さ90cm、直径45cm。梵鐘の表面に明治21年4月山形銅町小野半左エ門が鋳造、さらに道満村をあげて作ったことが記されています。

天童市道満 62

代々庄屋を務めた後藤家の母屋、現在春日神社の社務所を兼ねています。明治の建築で、天井には直径1メートル程の松の大梁が幾重にも架かり、樫一枚板戸等百年以上にもなる邸宅を大切に保存しています。庭園に樹齢600年以上という天童市指定天然記念物の三光ヒバがあります。

天童市山口地内の国道48号の旧道で押切川の原崎橋の東方三差路近くにある板碑。

成生荘型の典型的な板碑で高さ4.17メートルあり、東北でも最大級。鎌倉時代の造立とみられ天童市指定有形文化財です。石材は凝灰岩で摩耗し梵字のキリークが見えるのみとなっています。

天童市山口の原崎集落北の押切川向かいに鎮座し、祭神は月読尊。文化3年(1806年)集落の全戸の寄進によって建てられました。

開村の激動期を乗り越え安定への道を歩み始めた証であります。明治13年拝殿を建立し、昭和に入って出征兵士の増加を期に整備され現在の姿になりました。

天童市山口字荒宿 5103

国道48号の北側にある石碑。天保13年(1842年)庄屋の伊藤家が私財を投じて原崎沼等を改修し28ヘクタールの水田が開発され村民の生活が安定しました。明治30年伊藤家14代儀座衛門が中心となり記念碑を建立。撰文は14代が慶応義塾在籍当時から親交を深めていた福沢諭吉のものでした。

天童市山口の原崎集落南方の山際にある貯水量13万トンの灌漑用ため池。正保4年(1647年)山形藩主松平大和守が自然沼を灌漑用に規模拡大しました。天保13年(1842年)から庄屋の伊藤家が数代にわたって改修を行いました。天童市から越冬鴨の生息沼として天然記念物に指定され、ヘラ鮎釣りでも有名な沼となっています。



⑨ 妙見神社 みょうけんじんじや

天童市山口の下山口集落西にある神社。押切川に突き出た丘の森の中にあり、下山口集落の鎮守の神様として崇敬されています。この境内は天正12年(1584年)最上義光に敗れた天童頼久の家臣、浅岡大炊助の楯跡だったため、浅岡氏の氏神だったとみられています。祭神は天御中主神で、祭礼日は以前7月19日、9月19日でしたが、現在は10月第二日曜日となっています。



⑩ べんべこ太郎の墓 たろう はか

下山口の妙見神社入口の階段を登り切って右に10数メートル行った先に、べんべこ太郎という犬の墓があります。べんべこ太郎はこの地方に伝わる伝説の主人公で、若い娘を人身御供として要求する古狸の群れを退治し、自らも大怪我をし、妙見神社の所で息絶えてしまったといわれています。命を懸けて村人を救った犬の墓には、今も地区の人や多くの愛犬家が参拝に訪れています。



⑪ 宝珠山狐原院 来運寺 ほうじゅざん こげんいん らいうんじ

天童市山口 2400

慶長2年(1597年)草創の浄土宗寺院。寺伝ではさらに百年遡るとされ、江戸時代中期には無能上人の教化による念仏道場として栄えました。境内西側には無能上人と大本山増上寺36世法主で江戸時代を代表する呪術師の祐天上人の名号碑があり、往時の念仏信仰がうかがわれます。



⑫ 羽黒山 龍源寺 はぐろさん りゅうげんじ

天童市山口 3070

寛文元年(1661年)に開山した曹洞宗の寺院で、ご本尊は釈迦牟尼仏。境内の池の中に白雲大龍神を祀った龍神堂があり、早魃の時には雨乞い祈願が行われていましたが、近年は諸願成就の神として参詣する人も多くいます。山形十三仏霊場第三番文殊菩薩札所にもなっています。



⑬ 高瀧山 光明院 こうりゅうざん こうみょういん

天童市山口 3143-1

無住となっていた光明院を大正11年に滝口宥法師が現在地に再興しました。戦後修験宗が復活し、光明院は単立の天台法流の寺院へととなりました。本堂には蔵王権現、不動明王、それに水晶山で廃寺となった寺の仏像だった薬師如来が祀られています。令和2年に本堂が楽慶しました。



⑭ 高瀧山不動尊 こうりゅうざんふどうそん

天童市山口の上山口集落の東端にある赤い鳥居から2.5kmの山中に雨呼山を源流とする滝があり、この滝が高瀧山不動尊です。落差10数メートルあり、正面に不動尊、右に阿弥陀如来が祀られています。神亀元年(724年)僧行基が開眼と伝わっています。



⑮ 横内堰 よこうちせき

江戸時代の村絵図に乱川と押切川を結ぶ堰が関山街道に沿うように描かれています。大勢の関係者の努力により維持管理され、農業生産の役割を果たしております。※地図中に青線で印してあります。



⑯ 谷地中の石鳥居 やちなか いしとりい

天童市川原子の谷地中集落入口にある水晶山の鳥居。鎌倉時代の作で凝灰岩の石柱、高さ2.25メートル周囲2.9メートルで笠木も島木も抜穴もありません。伝説に、追手から逃れる義経の安泰を願った弁慶の一夜造りの鳥居が、夜が明け未完となったとあります。天童市指定有形文化財です。春には桜が咲き誇り、また違った表情を楽しめます。



⑰ 北原の層塔 きたはら そうとう

天童市川原子の谷地中北原の八幡神社裏手にあり、中世後期の作で高さ2.35メートル、台座の上に五輪塔の水輪のような初層があり、その上に三重の層塔があります。地元では大学檀と呼び、慶長年間(1596~1615年)に最上義光が地元の領主佐藤大学の供養の為に建てたと伝わっています。



⑱ 雨滴岩 あまだれいわ

天童市川原子の谷地中集落の裏山を20数メートル登った所にある大岩が雨滴岩です。石英粗面岩で高さが17メートル、周囲60メートルで、雨の滴で削られたような文様があるところから雨滴岩と言われ、近くの常楽寺の山号にもなっています。またこの文様は、弁慶が馬に跨り登ろうとしてきた馬の蹄の痕跡等の伝説が残っています。往時には、岩上に多聞天が祀られていたということです。



⑲ 水晶山 すいしょうざん

天童市と東根市の境にある、標高667.9mの山で、大宝2年(702年)修験道の祖役小角が開山と伝わっています。かつては山岳信仰、修験の霊山として繁栄し、山頂に水晶山神社が鎮座しています。登山口駐車場にトイレがあり、1時間前後で登頂、気軽に楽しめる里山、健康増進の里山として人気があります。



⑳ 水晶山神社 すいしょうざんじんじや

天童市川原子字水晶山 1

水晶山山頂に鎮座。昭和27年まで一つの社に大和神社と水精山神社が同居するように祀られていたが合併して水晶山神社となりました。祭神は両神社の大国魂神と大物主神の二神。創建は8世紀とみられ、貞観13年(871年)に従五位下を授かったと平安の歴史書三代実録に記載されています。